

深刻化するマンパワー不足

2024年の元旦に発生した能登半島地震。マグニチュード7.6で地盤が4mも隆起し、衛星からみても海岸線の地形が大きく変化するほどの大規模地震であったことは、大きな話題となった。地震発生から半年が経過した。出勤前に、今日の天気と都内の交通情報を確認しようとスイッチを入れたテレビで、たまたま能登のその後の復興のニュースを目にした。和倉温

泉では一部の旅館が経営を再開するなど徐々にではあるが復旧が進んでいる一方で、半年経っても断水や停電が続く、復旧がまだまだ進んでいない地域が数多くあるという。せっかくケーブルを引いても、最近の大雨による土砂崩れと続く余震による崖崩れで断線してしまい、思ったように復旧が進まない。また、倒壊しかかった家屋の解体作業を進めようにも、最近の人手不足と断水で作業に取り掛かれない現実があることを初めて知った。

人手不足といえば、大阪万博も慢性的人手不足と資材価格の高騰でパビリオンの建設に大幅な遅れをきたしているという。このマンパワー不足は建設業界だけではなく、運送業界や医療を取り巻く業界でも大きな問題となっている。この背景にあるのは就労人口の減少（人口減少）と需要の高まりで、これに時間外労働の上限規制が追い打ちをかけている。とある記事には、「ひと昔前は（同じ作業員が）昼夜を通して工事をしたのが、今はできない」と記載があった。

我々も医師の働き方改革が始まったが、病院によっては夜間・救急患者の受け入れ中止や手術の削減・中止などが起きている。休暇を貰えることは本当にありがたいことで、家族と過ごす時間も増えて家族（奥さん？）は喜んでいるが、その一方でこれまで時間の合間をみつめてこなしてきた仕事の代わりは誰が行うのかとふと考え込んでしまう。世の中ではデジタル技術などの導入が叫ばれているが、人が動いて初めて成り立つ業務においては、本当にこのようなことでやっていけるのか、甚だ疑問である。

（船橋公彦）

顧問 森岡恭彦 武藤徹一郎 今村正之 山崎洋次 幕内雅敏
名川弘一 亀岡信悟 國土典宏 幸田圭史 佐野 武
編集 長谷川 潔 船橋公彦 山下裕玄

臨床雑誌 外科	第86巻 第9号（8月号）	2024年8月1日発行（1089号）
編集兼発行者	東京都文京区本郷三丁目42番6号	小 立 健 太
印刷所	東京都千代田区飯田橋二丁目15番5号	日経印刷株式会社

発行所 ☎ 113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6（営業）TEL 03-3811-7239：振替口座 00120-1-149 番
株式会社 南江堂 （編集）TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660 <https://www.nankodo.co.jp/>

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

広告申込所：☎ 113-0033 東京都文京区本郷5丁目24番6号本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036